

全国連盟通信

第31期 No.5
2015年3月9日
発行責任者
和食昭夫



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: zenkoku@njsf.net URL <http://www.njsf.net>

つながり支援の輪

創立50周年の創立記念日を 迎えるにあたって

新日本スポーツ連盟会長 永井 博

この表題の原稿依頼を手にしたとき、脳裏を過ぎったのは昨年春の第31回全国総会を真ん中に、一昨年2月の評議員会から先日の評議員会へと続く、ここ2年間の理事会・諸委員会を含む論議の流れとその内容でした。

7大記念事業を決め、創立50周年を視野に入れたこの2年間の論議の積み重ねは、曲折はあったものの深い合意に達することができたと思います。その到達が、「2015年度は、この1年間の特徴的な活動の教訓を明らかにし、連盟創立50周年の年を、『スポーツのひろば』の普及と連盟組織の拡大をはじめ『運動と組織の前進の年』とするために全力をつくすこと」を、評議員会が合意・決定したことです。

機関誌『スポーツのひろば』の普及については、この間「各連盟組織が立てた自主目標(全国総会時比30%以上の増)を、必ず早期に実現する」ことを、連盟組織の拡大については、「全国連盟、全国種目組織、都道府県連盟が協力し合って、11月の創立50周年を節目とし、全国的には10%増を目標の目安とし、各連盟組織は自主的な目標を持ち計画を具体化する」ことを、評議員会は決めました。

この方針理解において大切なことは、『スポーツひろば』の普及も、連盟組織の拡大も、各組織が自主的に目標を決めて、自主的に取り組むということです。こうした方針を決めたのは、草の根から自らの自発的な意思によって、目標を達成しようという気持ちを共有することでできたからです。

何よりも大切なことは、すべての組織が、この方針を実践することです。50年前、未開の原野に鋤を打ち込んだ、先人達の営為に思いを馳せ、力をいたしましょう。

2015年は戦後・被曝70年、節目の年です。

「スポーツは平和とともに」のスローガンを掲げて運動するスポーツ団体として、協力共同の輪を広げて、平和のために、日本国憲法を活かすために、同時に力をいたさねばなりません。

ベーターベンではありませんが、「内なる平和」と「外なる平和」を共に求めて、11月の創立記念日に向かって、みんなで手を携えて歩んでいきましょう。



新日本スポーツ連盟 創立50周年

戦後・被曝70年
「スポーツは平和とともに」
をスローガンに



昨年北海道で初めて開催した
札幌平和大好きランニング&ウォーク

第31期第1回評議員会の報告

2月21日、22日の両日、第31期第1回評議員会が開催されました。出席は、評議員30名(79%)と理事・役員36名でした。議案は全て承認され、以下に特徴となる事項を報告します。(事務局長 福島邦夫)

一、第31回全国総会後の活動の特徴と課題

1、東北復興支援第30回全国スポーツ祭典の成功

第30回全国スポーツ祭典は東海ブロックを中心に「スポーツ 絆と平和 フェアプレイ」をメインスローガンに開催し、15種目(スキー競技大会は2月28日3月1日開催)で行われ7,014人の選手が参加し終了しました。主管した東海ブロック実行委員会の奮闘とともに、全国種目組織をはじめ各都道府県連盟のそれぞれの奮闘・努力に心から敬意を表し、讃えあいたいと思います。



第30回全国スポーツ祭典
ポスター

今回の全国スポーツ祭典は、多様な国民のスポーツ要求に応えるとともに、スポーツ連盟を生み出し育ててきた運動として、同時に、スポーツ連盟創立50周年を記念し祝う実践的な事業という意義をもって開かれました。

そして、東海ブロックの発意により、前回に続き東日本大震災の被災地から参加する選手・チームの出場費を援助・支援して行われました。第30回全国スポーツ祭典はこうした祭典の趣旨にふさわしい祭典として成功させることができました。

2、『スポーツのひろば』の普及、貴重な前進

総会での激論を通じて確認した機関誌『スポーツのひろば』の価格の値下げと「2015年2月の第31期第1回評議員会までに2,500部を実現するために各連盟組織が自主目標を立てて取り組む」との方針にもとづき取り組んできました。その結果、2015年4月号の2月20日現在の到達点は、前総会比で315部増え2,252部となっています。これは貴重な前進です。『スポーツのひろば』はスポーツ連盟の機関誌でありスポーツ連盟そのものであるということが着実に広がりつつあります。

3、期待が大きいスポーツ科学研究所

創立50周年記念事業の一つである「新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所」が2014年11月8日に設立されました。設立にあたってご援助ご協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。設立募金は2014年12月末現在、連盟内外の方々から525万円が寄せられ、併せて、期待と激励の声が届けています。

4、スポーツ基本法に逆行する動きへの対応 反核・平和の運動の広がり

各都道府県連盟は、スポーツ基本法の理念に逆行する施策を批判するとともに、住民とスポーツ愛好者の要求実現のために地方自治体との交渉・懇談をすすめてきています。

昨年の反核平和マラソンは、北海道ではじめて「平和大好きランニング&ウォーキング」が100人を越える参加者で成功するなど、21都道府県・地域で取り組まれ1500人を超えるランナー・サポーターなどが参加しました。8月5～6日に開催した「反核平和スポーツマンのつどい in 広島」は、被災地と戦跡をめぐる見学会を行い、6日には、広島城周回「平和マラソン・ウォーキング大会」への参加、広島～長崎反核平和マラソンの出発式と1区間のサポートランニング、平和祈念館見学、歌声ライブなど新たな企画の努力を行いました。

5、草の根の国際交流活動

種目組織としては初めて全国卓球協がFSGTの卓球代表団を招待しました(5/14～5/21)。全国卓球協総会への参加・挨拶、東京卓球協の3W大会や杉並のペアマッチ大会に出場するとともに、全国卓球協・全国連盟・東京都連盟・神奈川県連盟とも組織交流をしました。FSGTの招待でツールドペイコー(コーマラソン・5/25～6/2)に東京3名、和歌山1名、大阪1名のランナーが参加し、競技・交流の面で大いに活躍し代表団の使命を立派に果たしました。また、FSGTの創立80周年事業に伊藤高弘顧問が特別招待され、その参加を連盟としても支援しました。



卓球で国際交流

6、組織現勢

2014年末の全国連盟の組織現勢(分担金納入基準にもとづく)は、都道府県連盟加盟数で3,332クラブ、36,518人、全国種目組織加盟数で4,181クラブ、55,705人です。第31回定期全国総会資料(2013年12月の分担金基準組織現勢)からの増減は、都道府県連盟加盟数で、207クラブ、494人の減少、全国種目組織加盟数で1クラブ、286人の減少となっています。スポーツ活動での広がりを持続しつつも、組織的には「横ばい・減少傾向」となっています。

二、2015年の重点方針

《連盟創立50周年の年を、「スポーツのひろば」の普及と連盟組織の拡大をはじめ「運動と組織の前進の年」とするために全力を尽くす》

1、組織的な前進の中で50周年を迎える取り組み

スポーツ連盟の組織拡大は、2015年11月の創立50周年を節目とし、全国的には10%増を目標の目安とし、各連盟組織は自主的な目標を持ち計画を具体化することとします。

①「組織拡大交流会議」を、6月6～7日に東京都豊島区の生活産業プラザで開催します。(詳細6ページ)



前回の組織拡大交流会議(2009年)

②総会方針である組織強化を実現するために全国連盟、全国種目組織、都道府県連盟が協力してそれぞれ目標を持ち計画の具体化をはかる。そのためにブロック会議と「スポーツ懇談会」を軸に計画の具体化を進める。ブロック会議(活動)を今まで以上に、組織強化の活動を促進するために必要な予算措置も検討します。

③「スポーツ懇談会」を全国種目組織の協力を得て開催します。2015年は、中国ブロック(広島)、東北ブロック(福島)、関東ブロック(茨城)、東海ブロック(静岡)の4案を予定。

2、『スポーツのひろば』の継続的な普及活動

『スポーツのひろば』普及の取り組みは、引き続き継続して、以下の取り組みに全力をあげて取り組む。

①各連盟組織がたてた自主目標(全国総会時30%以上)を必ず早期(8月を目途)に実現すること。

②引き続き1クラブに最低1人の読者を実現する取り組みへの協力を加盟クラブに要請すること。この点で全国種目組織の決断と取り組みがきわめて重要です。

③各連盟組織の役員、指導員、審判員、クラブの役員、連盟外の研究者、協力者、協力団体役員など、訴える対象者を明確にして集中的に取り組む。



3、創立50周年記念事業

50年間の多面的で豊かな活動の教訓を連盟内外に広くアピールすることを目的に計画しすすめてきた7つの創立記念事業を、『スポーツのひろば』の普及および連盟組織の拡大強化と連動させ成功させましょう。そのために、多くの連盟組織と構成員の方々はもちろん、これまで物心両面でご支援頂いた関係者・協力者の方々に最大限参加いただくようにしましょう。

*創立50周年7大記念事業(別紙のチラシ参照)



創立50周年記念フェイスタオル

4、女性と若い役員の登用、世代の継承

①女性ネットワーク(旧:女性委員会)の活動を開始しました。スポーツ連盟の組織構成や活動実態で女性の役員の果たしている役割や課題を分析・検討し、女性が生き生きと活躍できる組織にする取り組みを進めます。

②昨年に引き続いて、「若手懇談会」を3月14日、関西・西日本を中心に開催します。

5、全国競技大会と全国スポーツ祭典

①2015年に行われる全国種目組織主催の全国競技大会は、創立50周年の年に開催されるという点で、それぞれの全国競技大会は、大会の到達点をふまえ、新たな課題を設定するなどの特別な努力をすすめ、次回の全国スポーツ祭典に繋げ、全国種目組織の組織強化に結実する取り組みとして成功させることをよびかけます。

②第31回全国スポーツ祭典(2016年)は、関西ブロックを中心に開催します。なお、開催種目については、関西ブロックでの開催が困難な種目については、従来と同様に対応する全国種目組織の協力を得て、他の都道府県での開催も検討します。同時に、全国スポーツ祭典の歴史的な到達点にたつて、全国スポーツ祭典の今日的な意義、開催方式、主管組織と全国連盟の関連や責任分担・体制・財政、全国祭典の一体性の確保などの基本的なあり方について検討をすすめます。

③第32回全国スポーツ祭典(2018年)は、東北ブロックと北海道で開催する方向で検討を要請します。同時に中国、四国、九州地方の共同開催ならびに関東ブロック開催も含め検討します。

6、スポーツ基本法を生かしスポーツ権を実現する運動

①自治体のレベルでは、他のスポーツ団体とも協力し、スポーツ基本法に基づいたスポーツ行政の実施を求めて、国や自治体への要望と交渉を繰り返し行うことを重視します。

石川県連盟が
金沢市に要望書を提出→



←千葉県連盟が
千葉県教育庁と懇談会

②国のレベルでは、今年の通常国会で「スポーツ庁」設立法案が提出される見通しとなっています。スポーツ連盟としても必要な見解表明を準備します。

③スポーツから「体罰」・暴力をなくすための取り組みを強めます。「体罰」・暴力を助長する背景、指導者の役割などの討論を深めて、暴力や各種ハラスメントを一掃する共同の取り組みを進めます。

7、スポーツ分野の反核・平和の取り組み

①被爆70年の節目の年にあたり、スポーツ連盟の創立50周年の事業として、東京～広島～長崎1500km反核平和マラソンを実施します。この事業には、FSGTや韓国体育市民連帯からもランナーが参加して、国際的に広がった反核平和マラソンとして準備を進めます。

②同時に、「福島～東京300km反核平和マラソン」を開催します。開催期間は、2015年7月24日～7月26日とし、24日夜出発式(福島市)、25日福島県庁出発、26日夢の島第五福竜丸展示館到着で実施します。

③8月5日、6日の「反核平和スポーツのつどいin広島」は、FSGTや韓国体育市民連帯から代表団を迎え、関西ブロックをはじめ全国種目組織の協力を得て多彩な企画で成功させます。

8、2020年東京オリンピック・パラリンピック 開催準備に向けて

昨年12月モナコで行われたIOC総会で決定された、「アジェンダ2020」は、オリンピックを平和と友好を育み、人類の能力の発達への挑戦、人権としてのスポーツを世界に根づかせるという根本理念の実現に貢献するとともに、国や都市の大規模開発に利用するのではなく、何よりも「持続可能なオリンピック」とする新たな指針を明確にしました。

スポーツ連盟は、この「アジェンダ2020」を歓迎するとともに、東京都連盟とともに準備活動の一層の改革のために積極的な役割を果たせるよう奮闘します。

9、草の根の国際交流活動

①2015年5月のFSGT80周年アッシーズ(国内・国際討論会)に4名が招待されており、3人をスポーツ連盟から、そして1人をスポーツ科学研究所から派遣する方向で検討中です。

②フランス・スタン市のFSGT加盟の陸上競技クラブESSから、クラブに所属する青少年の異文化を学ぶ研修活動として「日本プロジェクト2015」を計画しており、その主要な企画のひとつとして「2015年広島～長崎反核平和マラソン」への参加(25人の予定)申し入れがありました。この計画は、サントニ県とスタン市の後援と助成、在日フランス大使館の後援でおこなわれるものであり、主管する福岡県連盟の基本的な了解も得て、全国連盟として可能な限り協力していきます。

③創立50周年記念事業として、国際シンポジウム開催、東京～広島～長崎反核平和マラソンにFSGTと韓国市民連帯の招待の取り組みを理事会が一体となって成功させるために活動します。



反核平和マラソン

10、復興支援を継続してすすめる

多面的な復興支援活動を引き続き進めます。また、いまだに多くの困難に直面している宮城県連盟の組織と運動を維持するために必要な組織的・財政的支援についても対応していきます。復興支援募金は、被災地岩手、宮城の子どもたち対象とした「春休み子どもスキー」、女川でのボランティア活動、福島県での復興支援大会など、具体的な「スポーツ交流支援事業」を対象にした取り組みの募金を継続します。

11、総務局および財政活動について

①ランク別分担金制度は基本的に継続します。活動の広がりにとともに経費が増える一方、分担金収入は増えておらず、会員の増加が緊急で不可欠です。

②2014年に実行できなかった「連盟組織分担金検討委員会」を早急に立ち上げ、組織拡大にも結びつく柔軟な分担金制度の可能性を探究します。

③傷害見舞金制度は、現行の「一時会員」のみの制度として継続します。

④全国理事の松岡陽治(京都府連盟推薦)に代わり、川島宏(同 理事長)への理事交代を確認しました。

「ひろば」あと250部、8月中に達成を



Hiroba of the year

2014年度

ひろば オブ・ザ・イヤー

「スポーツのひろば」
普及拡大にあたっての功労賞

増誌率No.1 岩手県連盟

増誌数No.1 千葉県連盟

2月21日、新日本スポーツ連盟第31期第1回評議員会で「2014年度 ひろば・オブ・ザ・イヤー」の表彰が行われました。これは、「ひろば」の普及拡大に貢献した組織に感謝と敬意を込めて、ささやかな功労賞を贈るという趣旨で実施されたものです。今回、都道府県連盟と同準備会を対象に、6種類の賞が贈られました。

←表彰で和食理事長
(左)と握手をかわす
浅沼評議員(千葉県連盟)

増誌率No.1の組織に贈る「一番伸びたで賞」は、89%プラスとなった岩手県連盟。理事会で「ひろば」の普及について議論し、知人や関係者などに地道に宣伝した結果、目標を超えることができました。

増誌数No.1の組織に贈る「一番増やしたで賞」は、65部増やした千葉県連盟。「各常任理事は1人3部拡大」という具体的な目標を設定し、宣伝誌を活用しながら購読を訴えた活動が実り、大きく増誌しました。

その他、自主目標を達成した組織、1部でも増誌した組織に賞が贈られました(左の表を参照)。

昨年3月の全国総会で「評議員会までに2500部を達成すること」を目標に取り組んできましたが、2月20日時点では2252部。目標には届きませんでしたが、315部プラスとなったことは貴重な前進です。評議員会では、引き続き「ひろば」普及活動を強め、目標達成に全力をあげることを確認しました。是非、普及の訴えを各種目のクラブ、役員、指導員、審判の方々に広げていただけるよう、ご協力をお願いします。(広報局 佐藤信樹)

	2014年 3月号	目標	2月20日 現在	増誌率	増誌数
北海道	55	72	62	+ 13%	+7部
岩手県	18	30	34	+ 89% ①	+16部
宮城県	72	94	73	+ 1%	+1部
福島県(分局)	8	10	9	+ 13%	+1部
埼玉県	24	29	27	+ 13%	+3部
東京都	379	509	428	+ 13%	+49部 ②
千葉県	105	130	170	+ 62% ③	+65部 ①
神奈川県	235	300	269	+ 14%	+34部 ③
新潟県(分局)			4		+4部
長野県	8	10	9	+ 13%	+1部
富山県	32	42	30		-2部
石川県	14	20	18	+ 29%	+4部
静岡県	16	21	17	+ 6%	+1部
愛知県	71	92	80	+ 13%	+9部
岐阜県	70	91	70		0部
三重県	45	59	41		-4部
滋賀県	42	53	54	+ 29%	+12部
京都府	89	120	100	+ 12%	+11部
奈良県(分局)	2	3	7		+5部
和歌山県	46	56	57	+ 24%	+11部
大阪府	167	213	188	+ 13%	+21部
兵庫県	116	150	150	+ 29%	+34部 ③
広島県(準備会)	6	8	10	+ 67% ②	+4部
香川県	3	4	3		0部
徳島県	95	105	96	+ 1%	+1部
高知県	19	25	19		0部
福岡県	59	85	78	+ 32%	+19部
佐賀県(分局)	5	7	5		0部

2014年度 ひろば オブ・ザ・イヤー

- ①一番伸びたで賞(増誌率 No.1)
 - 岩手県連盟 +89%増
- ②一番増やしたで賞(増誌数 No.1)
 - 千葉県連盟 +65部
- ③目標達成したで賞
 - 岩手県連盟 千葉県連盟
 - 滋賀県連盟 和歌山県連盟
 - 兵庫県連盟 広島県連盟準備会
- ④たくさん普及したで賞(20部以上増)
 - 東京都連盟 千葉県連盟
 - 神奈川県連盟 大阪府連盟
 - 兵庫県連盟
- ⑤なかなか増やしたで賞(10~19部増)
 - 岩手県連盟 滋賀県連盟
 - 京都府連盟 和歌山県連盟
 - 福岡県連盟
- ⑥がんばりましたで賞(1~9部増)
 - 北海道連盟 宮城県連盟
 - 埼玉県連盟 長野県連盟
 - 石川県連盟 静岡西部地区連盟
 - 愛知県連盟 広島県連盟準備会
 - 徳島県連盟

組織的な前進の中で50周年を迎える取り組みに知恵と力を結集しよう！

6月6日～7日「組織拡大交流会議」開催《概要》

2月21～22日に開催された第31期第1回評議員会において、「スポーツ連盟の組織拡大は、2015年11月の創立50周年を節目とし、全国的には10%増を目標の目安とし、各連盟組織は自主的な目標を持ち、評議員会以降すぐに4月を目途に、計画を具体化すること」が確認されました。

つきましては、今年度の「組織拡大交流会議」は、創立50周年を「運動と組織の前進の中で迎えよう」の方針を推進することを目的に2015年6月6～7日開催します。会議の内容は、スポーツの組織化をめぐる新たな状況にいかに対応するかおよび全国種目組織の活動の強化を軸にした討論と、各連盟組織の組織拡大の経験交流を行う方向で具体化します。合わせの上ご出席くださるようお願い致します。

開催要項〈案〉

期日	2015年 6月6日～7日		
会場	東京都豊島区 生活産業プラザ 8F 多目的ホール		
内容	6月6日 13:30～17:00	6月7日 9:30～15:00	
	活動・提案レポート	リレー報告「組織からの2015年組織拡大計画とその課題」	
	「新たな可能性からの教訓をみんなのものに」	討論「3テーマぐらいに絞って」	
	1日目終了後 懇親会	スキルアップ講座「Facebook (フェイスブック) を始めよう！」	
出席対象	都道府県連盟および全国種目組織 (準備会含む) の組織拡大の責任者 (理事長、事務局長、組織担当者など)。複数の参加は可能です。		
費用支給	各組織の代表者1名分の交通費と宿泊費は支給します。また、全国連盟から派遣を要請した方についても同様です。		

*全国連盟理事の皆さんは、理事推薦基盤組織 (所属組織) の組織拡大計画書を第5回理事会 (4月11～12日) 迄に提出をお願いします。全国連盟理事を選出していない道県連盟も同様をお願いします。

(スポーツ活動・組織局 福島邦夫)

2015年度全国競技大会開催一覧

水泳	11月3日	東京都	辰巳国際水泳場	2015年 3月9日現在
軟式野球	11月14日～15日	福岡県	春日市を中心に	
バレーボール	11月14～15日	徳島県	徳島市民体育館・徳島アミノバリューホール (14日) 徳島市民体育館 (15日)	
卓球	一般 12月19～20日	京都府	京都府立体育館	
	年代別 16年1月16～17日	岡山県	桃太郎アリーナ	
テニス	11月28～29日	高知県	高知市春野総合運動公園	
サッカー	東日本 11月22日	宮城県	宮城スタジアム・補助グラウンド	
	西日本 11月15日	大阪府	J-GREEN 堺	
	ファイナル 12月13日予定	千葉県		
	シニア大会 11月28～29日	千葉県	成田中台	
バドミントン	団体戦 6月20～21日	愛知県	名古屋市稲永スポーツセンター	
	個人戦 12月5～6日	愛知県	名古屋市鶴橋スポーツセンター	
ソフトボール	東日本 11月28～29日	埼玉県	戸田市道満ソフトボール場	
	西日本 11月14～15日	高知県	高知市春野総合運動公園	
ウォーキング	9月26～27日	新潟県	「全国交流ウォーク」長岡市山古志	
ミックスバレーボール	11月28～29日	石川県	いしかわ総合スポーツセンター	
スキー	16年3月5～6日	長野県	戸狩温泉スキー場	

第1回シンポジウム開催のお知らせ

日程：2015年3月28日（土）（13：00～受付開始）

会場：日本青年館503号室

〈シンポジウム全体テーマ〉

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてのスポーツ科学研究とアスリート・サポートのあり方を検討する

〈シンポジウム個別テーマ〉

①川原貴氏（国立スポーツ科学センター長）

JISSによるアスリートの科学的サポートのこれまでとこれから

②荒木秀夫氏（徳島大学教授）

トレーニング研究とアスリート・サポートはどうあるべきか

このシンポジウムの趣旨

現在、各種競技団体に補助金を配分する機関を新たに設置し、全国の研究機関や大学と連携してスポーツ科学推進体制を整備する計画が構想・実施されています。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本のスポーツシステムが大きく再編されていくなかで、今後、どのような研究が重視されていくのか、スポーツ科学とアスリート・サポートはどうあるべきなのかなど課題を扱います。

スポーツ科学の発展はすべてのアスリートのスポーツ権を保障するコアとなる部分で、きわめて重要な課題です。トップアスリートのための研究とサポート体制が、一般アスリートの競技力向上に役立つ道が開ければ、スポーツ界にとって意味のある遺産となるでしょう。

（スポーツ科学研究所事務局長 青沼裕之）

被爆70年の年 2015反核平和マラソンは

福島から東京・広島・長崎へ1800kmをタスキリレー

2015年は、被爆70年の節目の年ということで、毎年全国各地で開催される反核平和マラソンと連帯して、東京～広島・長崎までタスキをつなぐ反核平和マラソンが準備されてきましたが、「今年は何としても福島から走ってタスキをつなぐことが大切だ」という呼びかけに答えて、福島から東京まで300kmの反核平和マラソンが実現しました。

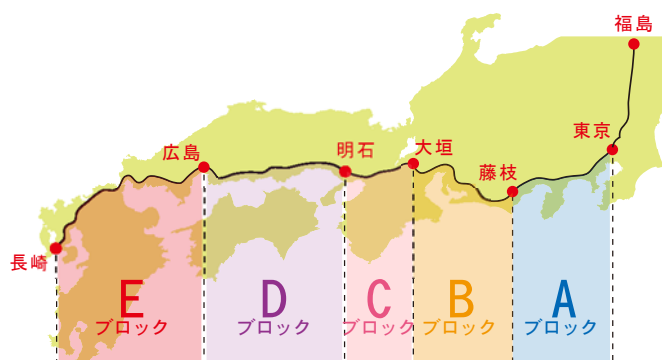
福島～東京間のマラソンは、スポーツ連盟と福島県労連、全法務労働組合などと実行委員会を立ち上げ、福島民医連にも協力を要請するなど準備が始まりました。後は、福島から東京まで走るランナーを募集するばかりです。東京～広島～長崎の1500kmのコースについては、5ブロックに分けて、それぞれのブロックを担当する連盟のみなさんにコースの案内、給水はじめ一緒にアピールランニングをしていただく、ランナーを大募集しています。

8月5日に広島に到着すると、FSGTや韓国体育市民連帯のみなさんと共に大セレモニーを実施し、6日の朝の長崎への出発へとつなぎます。6日からは、25人のフランスFSGTの若ものランナーが「反核平和」の思いを込めて長崎まで一緒に走ります。

各地の反核平和マラソンと連帯して、成功に向けて準備を加速させていきましょう。

（スポーツ権・平和運動局 萩原純一）

被爆70周年東京～広島～長崎1500キロ反核平和マラソン



A	7/27	東京・夢の島スタート～横浜市役所
	7/28	横浜市役所～箱根・芦ノ湖
	7/29	箱根・芦ノ湖～静岡県・藤枝市役所
B	7/30	藤枝市役所～愛知県・豊橋市役所
	7/31	豊橋市役所～岐阜県・大垣市役所
C	8/1	大垣市役所～京都市役所
	8/2	京都市役所～兵庫県・明石市役所
D	8/3	明石市役所～岡山県・瀬戸内市役所
	8/4	瀬戸内市役所～広島県・尾道市役所
	8/5	尾道市役所～広島市平和祈念公園
E	8/6	広島市平和祈念公園～山口県・防府市役所
	8/7	防府市役所～福岡市役所
	8/8	平和台陸上競技場前～長崎平和公園

第31期全国会議及び主要事業予定一覧 (2015年3月～2016年3月)

月日	全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織		
【2015年】				
3月	1日	全国サッカー協議会総会		
	4日	ひろば4月号発行		
	7日	東京都連盟定期総会		
	7～8日	全国テニス協会総会		
	8日	全国水泳協議会総会		
	14日	若手懇談会(京都) 千葉県連盟定期総会		
	21日	京都府連盟総会、全国ウォーキング理事会		
	21～22日	岩手春休み子どもスキー		
	25～26日	宮城春休み子どもスキー遠足		
	27～28日	スポーツ科学研究研究会・シンポジウム		
28日	2016スポーツ祭準備会・関係宮城県連盟総会			
4月	1日	全国バドミントン協議会総会		
	4日	ひろば5月号発行		
	5日	岩手県連盟総会		
	5日	よこはまVIVICITTAマラソン大会		
	11～12日	31期第5回理事会		
	12日	第11回愛知リレーマラソン		
	18日	全国卓球協議会総会、北海道連盟定期総会		
	25日	福岡県連盟総会		
		全国フットサル：関西ブロッククリニック(4～5月)		
	5月	1日	ひろば6月号発行	
3～5日		全国RC：伊豆ランニングクリニック		
		原水爆禁止国民平和実行連東京～広島スタート		
9～10日		第38回全国選抜軟式野球大会(静岡)		
10日		和歌山：平和マラソン		
14～17日		FSGT80周年一環アッシーズに派遣		
24日		青葉の森リレーマラソン(千葉)和歌山：平和マラソン		
		滋賀県連盟総会		
		和歌山県連盟総会(5月～6月)		
6月		4日	ひろば7・8月号発行	
	6～7日	組織拡大交流会議		
	13日	神奈川県連盟総会、石川・富山：平和マラソン		
	13～14日	全国勤労者スキー協議会代表者会議		
	14日	愛知：平和マラソン(名古屋)		
	20～21日	第11回全国バドミントン競技大会団体戦(名古屋)		
	21日	三重県連盟総会、京都：反核平和マラソン		
	23日	東北ブロック会議 石川：反核平和マラソン		
	27～28日	労山全国遭難対策研究集会		
	28日	愛知県クラブ交流集会(準総会) 群馬：反核平和マラソン		
7月	3日	ひろば9月号発行		
	5日	長野県連盟総会、宮城：平和マラソン		
	5日	三重・和歌山：平和マラソン		
	5日	大阪：平和マラソン		
	11日	東京：平和マラソン		
	11～12日	神奈川：平和マラソン		
	12日	大阪府連盟定期総会、千葉・兵庫：平和マラソン		
	24～26日	福島～東京300KM反核・平和マラソン		
	26日	福岡：平和マラソン(北九州)		
	26日～8月10日	韓・仏代表団を招待(反核・平和マラソン)		
27日～8月8日	被爆70年東京～広島～長崎反核・平和マラソン			
8月	2日	石川県連盟総会(7～8月)		
	3日	石川：反核平和マラソン		
	3日	ひろば9月号		
	5～6日	反核平和スポーツ愛好者のつどいin広島		
	5～6日	第2回メモリアルピースウォークinヒロシマ2015		
	6日	滋賀：平和マラソン 広島：平和マラソン&ウォーキング		
	6～8日	反核平和マラソン(広島～長崎)		
	9日	愛知：平和マラソン&ジョギング(鶴舞公園)		
	29～30日	31期第6回理事会		
	9月	1日	ひろば10月号発行	
6日		北海道：平和マラソン		
23日		徳島：平和マラソン		
26～27日		全国交流ウォーク「山古志へ行こう！」		
		全国フットサル：関東ブロッククリニック(9月)		
10月		5日	ひろば11月号発行	
		10～11日	第8回東海ブロックスポーツセミナー I N 三重	
		11月	2日	ひろば12月号発行
			3日	東京水泳競技大会兼全国水泳競技大会
			6～9日	仏・韓招待(50周年記念シンポ)
	7日		連盟創立50周年記念行事(国際シンポ、レセプション)	
	7～8日		31期第2回評議員会、第7回理事会	
	15日		第6回Foot a 7全国交流大会(大阪)	
	15日		第21回全国サッカー競技大会(西日本)	
	14～15日		第49回全国軟式野球大会(福岡)第6回西日本ソフトボール大会(高知)	
22日	第21回全国サッカー競技大会(東日本)			
28～29日	第19回全国シニアサッカー大会(千葉)			
28～29日	第12回東日本ソフトボール大会(埼玉)			
28～29日	全国テニス選手権大会(高知)			
12月	5～6日	第13回全国バドミントン競技大会個人(名古屋)		
	6日	愛知：高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン		
	13日(予定)	第21回全国サッカー競技大会(FINAL)		
	12～13日	31期第8回理事会		
	19～20日	全国卓球選手権大会一般の部(京都)		
	【2016年】			
	1月	10日	全国縦断新春マラソン(神奈川、愛知、大阪、和歌山、兵庫、北九州、福岡)	
		17日	全国縦断新春マラソン(滋賀)	
		16～17日	全国卓球選手権大会年代別の部(岡山)	
	2月	13～14日	31期第3回評議員会・第9回理事会	
3月	12～13日	32回定期全国総会		

東北復興支援 「義援金」報告

2015年2月28日現在

義援金募金 2011年3月～ 全国連盟口座への振り込み分

A義援金(スポーツ連盟支援募金)	募金 合計	9,920,185円
*FSGTからの支援募金の合計 890,011円を含む		
B義援金(公的機関への募金)	募金 合計	178,976円
2011年12月8日朝日新聞厚生文化事業団へ送金		

A義援金(スポーツ連盟支援募金)充当状況 2011年3月～

被災者お見舞金	3,620,000円
宮城県・岩手県連盟支援金(活動支援、事務所維持支援)	1,983,270円
東北連盟支援金(全国分担金、「スポーツのひろば」誌代)	827,179円
行事・競技会、ボランティア活動への支援金(2012年3月～)	1,772,605円
充当 合計	8,203,054円

募金 残高 1,717,131円

第31回定期全国総会資料(2014年3月15-16日)以降の内訳

A義援金(スポーツ連盟支援募金)	義援金募金
富山パークゴルフクラブ	2014/2/21 9,200
月例湘南マラソン運営委員会	2014/3/15 48,899
大阪府卓球協	2014/5/20 508,508
和歌山平和大好きマラソン大会	2014/7/8 6,643
広島長崎反核平和マラソン実行委員会	2014/10/3 20,000
富山パークゴルフクラブ	2015/1/22 5,600
関西サッカーシニア交流大会	2015/2/9 10,000
愛知県卓球協会	2015/2/21 10,210

A義援金(スポーツ連盟支援募金)充当状況

宮城県・岩手県連盟支援金(活動支援、事務所維持支援)		
宮城県連盟	2014/11/19	500,000
行事・競技会、ボランティア活動への支援金		
全国子どもスキー	2014/5/20	400,000
女川ボランティア助成7/8-10	2014/7/8	100,000
全国卓球福島県大会	2014/10/23	150,000

全国勤労者スキー協議会

春休み子どももスキー
支援募金のお願い



2015年の日程 岩手県… 3月21、22日 宮城県… 3月25、26日

これまで、参加した子どもたちから「楽しかった、またスキーがしたい」「今度は転ばずに滑りたい」という感想がたくさん寄せられました。皆さんの募金が、「子どもスキー」のリフトやバス、宿泊費などに活用されます。ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

支援募金は
右記の口座へ

郵便振込口座 00180-7-82138
全国勤労者スキー協議会(支援募金と明記)